

ケニアの  
ママたちの作った  
小物雑貨展



ケニアに育つ希望の家

# ケニア マトマイニ展

ケニアのスラムに住むママたちが一針一針羊毛を刺し、かわいいフェルト動物を作りました。キリン、象、サイなどアフリカに住む動物たち。手作りアクセサリーやオリジナルエコバッグもあります。お誘い合わせの上、一目動物たちに会いに来てください。このチャリティイベントは、ケニアに住み、恵まれない子どもたちやお母さんのために、支援を行っている菊本照子さんの活動を応援する展示即売会です。



2015年**6月5日(金)～8日(月)**  
12:00～19:00

入場  
無料

**ギャラリー楽水**

東京都新宿区矢来町95  
<http://rakusui.info/>

お問合せ先：03-5485-0456(コイル)

主催：マトマイニ活動支援ボランティア



**菊本照子** (きくもと・てるこ)

ケニア国ナイロビ市でスラムのストリートチルドレンなど恵まれないケニアの子供たちを支援する「マトマイニ・チルドレンズホーム」(スワヒリ語で「希望の家」)を30年近くわたって運営し、ここから巣立っていった子どもたちは約100人にのぼる。最近の活動は、フェルトのぬいぐるみ制作をスラムのシングルマザーに教え、彼女らの自立を支援している。

菊本さんのblog→ <http://ameblo.jp/scckkenya/>

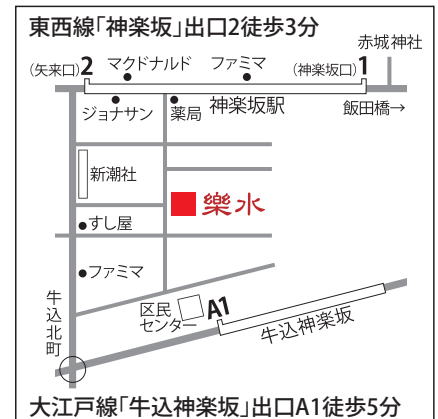
2007年———第41回 吉川英治文化賞受賞

2011年5月4日放送——TBS「渡部陽一のGWファミリーSP!世界の村がアリガトウ命を救うニッポン人!」で紹介

2012年10月26日放送——テレビ東京「世界・なぜそこに?日本人」で紹介

2014年9月13日———World Assembly for Women in Tokyo (WAW! Tokyo2014)

ハイレベル・ラウンドテーブル安倍総理スピーチの中で言及「…ケニアでは、スラムのお母さんたちが作るフェルトのぬいぐるみがヒット商品になっているそうです。若くしてシングルマザーになる例も多い。日本の女性、菊本照子さんは、職業訓練工房を立ち上げ、ぬいぐるみ作りを教え始めました。今はお母さんたちが自ら材料を購入し、帳簿付けまでに行っているということです。デザインにも斬新なアイデアが生まれているそうです」。



展示商品は全てお買い求めになれます。

※売上金はDM、ポスターなど開催経費を除き残り全てを活動支援金として現地に送金します